



# 要素訓練（現場実動）実施要領

2022年12月1日実施（予備日：12月22日）

# 01 実施要領

## (1) 要素訓練の目的

緊急時対策所と現場が連携した現場実動訓練を実施することで、緊急事態対策組織の対応力の総合的な強化を図る。また、訓練評価から課題を抽出し改善を行う。

なお、原子力規制庁『令和4年度評価指標（実用発電用原子炉）』における「指標7. 現場実動訓練の実施」の位置付けとして本訓練を実施し、他電力から当社の対応に対する評価を受け、当社の手順・運用に改善事項等を反映することで、現場対応能力向上に資することとする。

## (2) 実施日時

12月1日（木）9：00～12：00 <予備日：12月22日（木）>  
（全社防災訓練に合わせて、要素訓練として現場実動訓練を実施）

## (3) 訓練テーマ

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## (4) 訓練想定

4号機（新規制基準適合後）定格熱出力一定運転中  
3号機、5号機（旧基準炉）停止中（炉内に燃料なし）  
1, 2号：廃止措置中（全燃料搬出済み）

## (5) 備考

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

# 01 実施要領

## (6) 訓練全体シナリオ

シナリオ非開示型訓練のため非公開

全社防災訓練全体シナリオ案

シナリオ非開示型訓練のため非公開

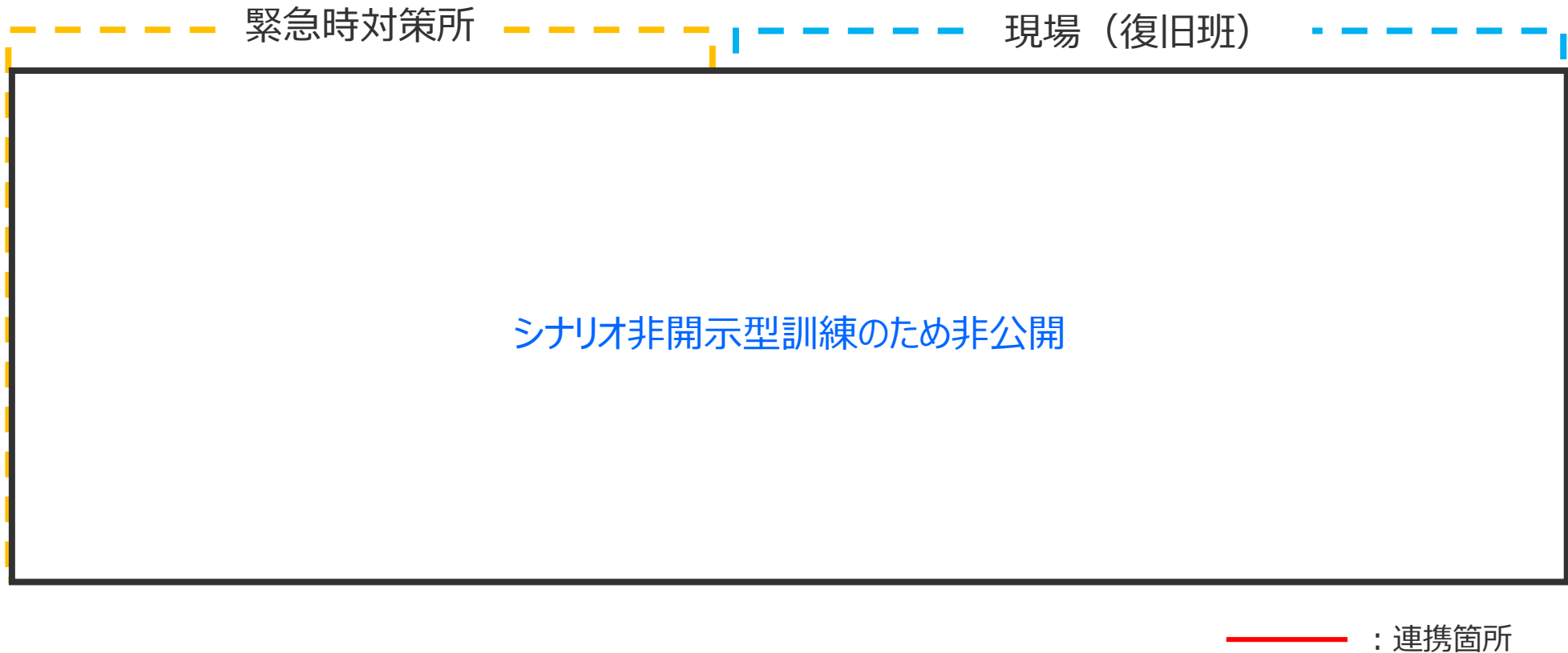
シナリオ非開示型訓練のため非公開

体制や詳細な現場フローは  
次頁以降に記載

# 01 実施要領

## (7) 訓練体制

現場実動訓練における緊急時対策所－現場の体制は以下の通りとする。



## 02 マルファンクションの設定

### (1) マルファンクション対応の目的

訓練をより実効的にするため、プレイヤーに非開示事象を付与して、不測の事態発生時の認知、判断、対応能力の強化を行う。

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## 02 マルファンクションの設定

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## 02 マルファンクションの設定

シナリオ非開示型訓練のため非公開



## 02 マルファンクションの設定

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## 02 マルファンクションの設定

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## 02 マルファンクションの設定

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## 02 マルファンクションの設定

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開



シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

## 05 観察実施要領

### (1) 訓練観察体制

原子力規制庁殿：●名（現地防災専門官1名を含む）

電力会社：評価2社（中国電力、日本原子力発電）

社内訓練評価者：現場実動訓練（本部・現場）の評価2名

訓練事務局：20名程度

### (2) 訓練評価方法

#### ■ 社内訓練評価者による評価

評価チェックシートを用いて訓練観察を実施し、訓練後に活動を評価する。

#### ■ 他電力による評価

評価チェックシートを用いて、第三者に活動を評価いただく。

※現地での評価を基本とするものの、新型コロナウイルスの感染状況に応じてDVDによる評価とすることもあり得る。

### (3) 評価結果等の反映

評価結果、良好事例、気付き事項および改善事項については、自社の改善計画のプロセスに取り込み、反映を実施する。

必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。

## 05 観察実施要領

### (4) 訓練観察時資料

- a. 要素訓練（現場実動）実施要領 [発電所固有資料]
  - ✓ 訓練体制、訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認
- b. 要素訓練観察チェックシート
- c. 手順書 [発電所固有資料]
  - ✓ 訓練設定上の模擬範囲